

ケアの人類学における「ニーズ」概念の検討

静岡県 T 市における介護保険制度とデイサービスの提供過程を事例として

杉山仁木 (千葉大学)

本発表の目的は「ケア」の人類学的アプローチの試みの一つとして、日本における介護保険制度、特にデイサービス職員のサービス提供についての事例分析を通じ、いかにして「ニーズ」が介護の場面において人々の行為や関係性を方向付けているのかを論じることである。

ケアという枠組みで研究がなされるようになってから、文化人類学の領域では一定の成果が蓄積されてきた [武井 2013]。こうした研究において、医療や福祉、介護といった領域に加えて、動物の飼育や機械のメンテナンスといったいわゆるケアのトピックとは考えにくいような領域も対象とされている [Mol, Moser and Pols 2010 : 9]。

このように既存の枠組みにとらわれず幅広い議論が可能であるということは、翻って必ずしもケアという言葉の意味が一致しているわけではないということでもある [武井 2013]。さらに言えば、ケアは状況依存的な概念である [武井 2009]。なぜなら、同じ対象に対する同じ行為が時と場合に応じてケアと見なされたり見なされなかったりする一方で、ある行為が一定の対象に対してはケアとして現れても別の対象に対してはケアとして現れないということがありえるからだ [武井 2009 : 3]。つまり、ある行為の類型を指してケアであると定義はできないし、ある対象に対する行為が常にケアであるとも限らないのである。だとすれば、ある対象に対するある行為を誰がどのようにケアと捉えているのだろうか。

そこで本発表では、ケアという実践について次の問題を検討していく。すなわち、ある行為や関係性を誰がどのような場面を指し、いかなる意味で「ケア」と捉えているのか。この問題を考えるにあたり、社会福祉学において歩行や家事の困難といった特定の問題を扱う際の発想である「ニーズ (社会的必要性)」概念を導入する [岩崎 2014 : 198]。なぜならばケアという実践の背景には必要性の認識があるはずであり、そうした必要性は複数であることが多いゆえに互いに競合するものであるからだ。本発表ではケアを形作るニーズを広く「必要性」ととらえ、人々によってそうしたニーズが認識され満たされることに関わる過程をケアとして分析する。

以上の問いを検討する上で具体的な事例となるのは、静岡県 T 市の介護保険制度におけるデイサービスを舞台とした、職員と利用者、および家族間でのやり取りである。日本の介護保険制度は家族の負担を軽減

し、介護を社会全体で支えることを目的に 2000 年より施行された。家族介護の補完 [結城 2008] という目的に加えてこの制度では利用者 (=高齢者) の希望の尊重や財源支出の抑制 [椋野 2014] 等が志向されているという見方がある。つまり、家族がサービス受給対象でもあるために利用者以上に家族の意向が重要な参照軸になったり、ケアの方向性が財政的な状況に依存したりするのである。

こうした背景がもたらす帰結は、介護サービスの遂行において複数の「ニーズ」が表面化する事態である。たとえば利用者と接するデイサービスの職員は、利用者家族の意向や制度の状況、施設の方針や利用者本人の容態といったいくつかの指標を加味しなくてはならない。

あるとき、歩行がおぼつかない利用者を職員がデイサービスから自宅へ送る際、送迎車から玄関までの歩行介助をしないという選択が行われたことがある。利用者の筋力の衰えを懸念する家族のニーズを優先させたために、利用者や職員の介助の意思は退けられる結果となったのである。このようにニーズは職員や利用者あるいは家族といった人々の行為や関係性を方向付け、それぞれにとっての「ケア」を想像させている。

本発表は、様々なニーズの競合する局面を紹介することで、ケアが立ち現われる場面を描写していく。こうしたニーズは、介護保険制度の成立背景や行政の方針、あるいは家族のあり方の規範などに端を発するものであり、これらニーズを遡及的に検討することは、ケア実践というミクロな領域と、ケアが置かれている社会状況やシステムといったマクロな領域との架橋に繋がるのである。

【参考文献】

- 岩崎晋也、2014「社会福祉の運営」『社会福祉をつかむ』
稲沢公一、岩崎晋也著、pp. 191-239、有斐閣。
椋野美智子、2014「ケアサービス保障の仕組み」『補訂版高齢者福祉の世界』直井道子・中野いく子・和気純子 (編)、pp. 167-183、有斐閣。
武井秀夫、2009「ケアを考える」『千葉大学人文社会科学研究』19:1-17。
———、2013「ケアの人類学」『講座ケア 1 ケアとは何だろうか』広井良典 (編)、pp. 101-124、勁草書房。
結城康博、2008『介護—現場からの検証』岩波書店。
Mol, Annemarie, Ingunn Moser & Jeannette Pols,
2010 Care: putting practice into theory. In *Care in Practice*, Mol, A., Moser, I. and Pols, J. (Edited), pp. 7-26., Transcript-Verlag.

キーワード 介護保険制度、家族、ケア、高齢者介護、社会福祉